資料その他2

知床国立公園 ルサ園地の再整備について

北海道環境局 釧路自然環境事務所

環境省
Ministry of the Environment

ルサ園地の位置図


208
143
3
至 相泊
道道87号線
ルサ園地
4
280
知床橋
北浜
ルサフィールドハウス
キキリベツ川
至 羅臼町
出典 地理院地図

ルサ園地の整備事業の概要



出典 地理院地図

事業概要

① 利用拠点としての園地整備

・知床国立公園東海岸側の利用拠点として、公園利用者の探勝・散策や、環境・文化学習、サケ等の生き物や河川・海峡等の展望が可能な園地を令和8年度から整備を開始。

・サケ観察等の環境学習要素を含んだルサ周辺でのツアーを今後予定している。

② 崩れが進行している法面の改修

・令和7年9月の大雨等で浸食・崩れが進行している園地北部の法面（②箇所）の改修を実施。浸食等により斜面が急傾斜となっているため、安定勾配までの切土を令和8年度に実施する。

※オレンジ数字：写真撮影位置（次頁）

ルサ園地の現状写真



① 知床橋からルサ川上流方面
令和8年5月時点のルサ川河口部



② 園地北部からルサ川上流方面
奥手の山がルサ乗超し



③ 園地全景(ルサFH側から)
整備予定の園地の全景

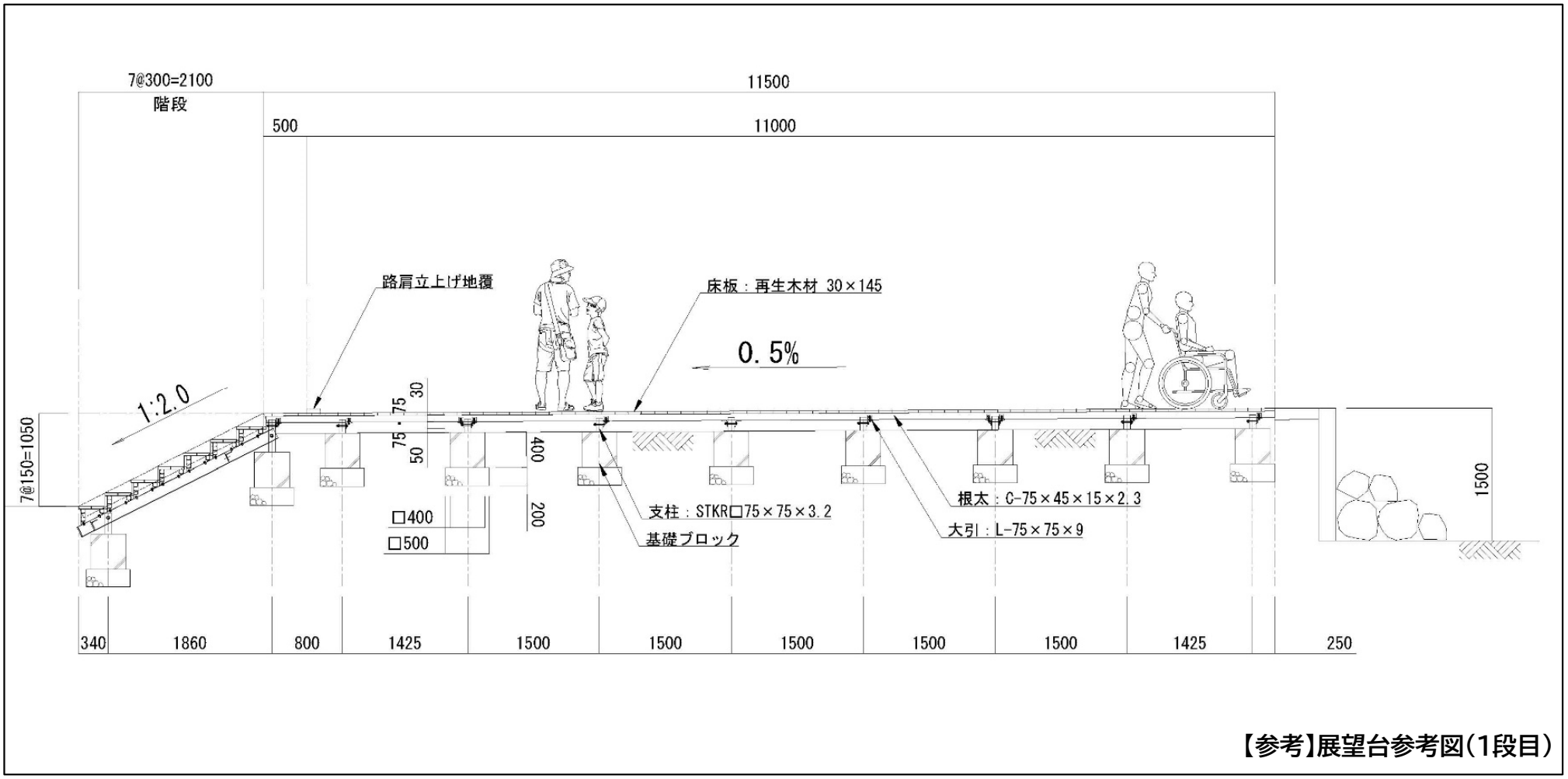


④ 園地から海側の景観
園地北部から海側を望む景観
根室海峡と国後島



⑤ 法面の崩落状況
令和8年5月時点の法面の状況
上②と同じ場所

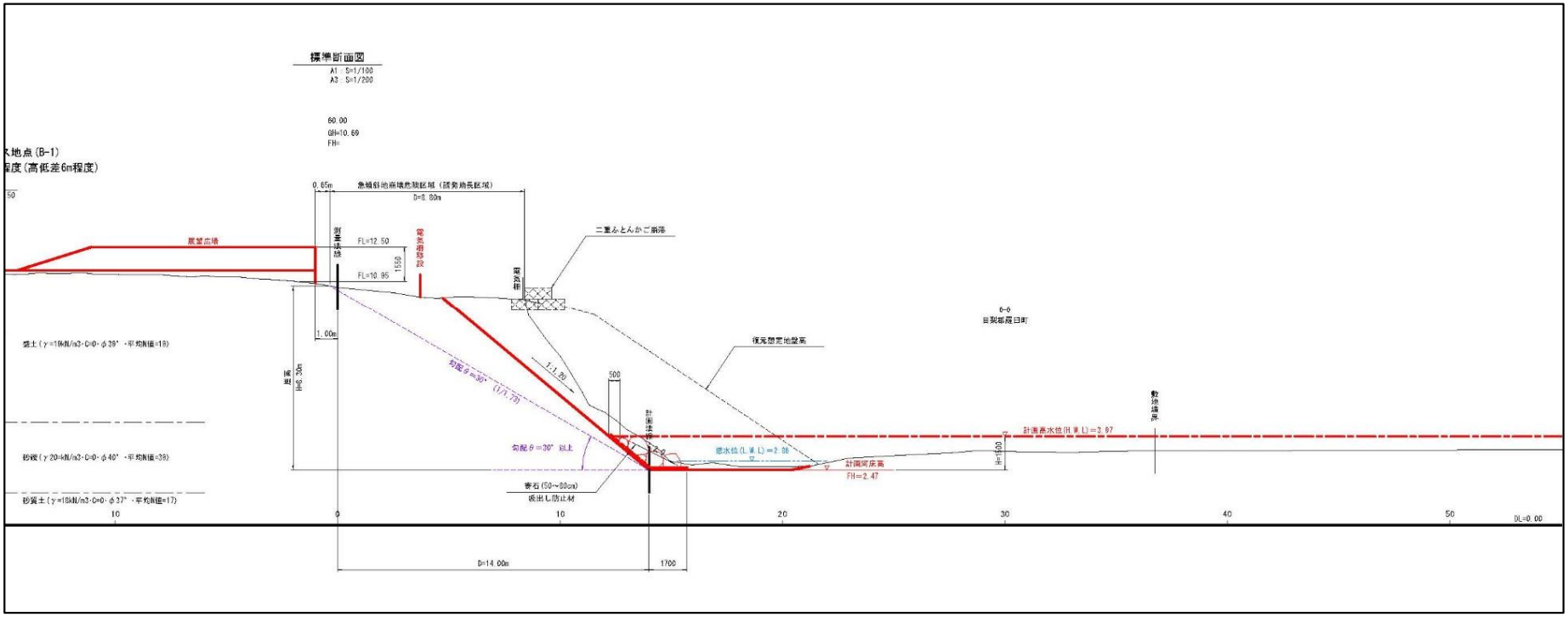
ルサ園地整備概要（展望広場）



【参考】展望台参考図（1段目）

展望広場は、サケマス観察やルサ川の谷合いと知床連山の稜線、根室海峡と北方領土が望める場所として園路の終点部に整備。後述する切土による残土を用いながら、約1.5m程度嵩上げを実施。
広がりのある空間を整備することで、サケマス等の観察ツアー実施時の説明スポットとして想定している。防風・防鹿柵にも隣接しており、河畔林の育成事業の説明も可能。

ルサ園地整備概要（法面の改修）




② 法面の状況（R7.9時点）

園地北部では5.0m～7.0mの法面が形成されている。当該法面は勾配が急であり、雨水等による浸食が生じ、法面が崩れている。
また、令和7年9月21日に発生した大雨でも法面の崩れが進行していることを確認。
法面崩落を防ぐため、傾斜を安定勾配にするための切土工事を予定。本工事では、法面及び展望広場の保護のため水衝部に石を寄せて直接保護することとした。